



平成 28 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 取締役経営企画部長 宮石 啓司
(TEL. 092-437-8944)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 8 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり、修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 6 月期通期連結業績予想の修正(平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	950	750	390	82.08
今回修正予想 (B)	14,000	370	80	10	2.09
増減額 (B-A)	△4,000	△580	△670	△380	-
増減率 (%)	△22.2	△61.1	△89.3	△97.4	-
[ご参考]前期実績 (平成 27 年 6 月期)	12,596	△7	△225	△246	△52.08

(注) 前期実績の売上高および営業利益につきましては遡及修正後の数値を記載しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ第5号」の今期完売を計画し、販売に注力してまいりましたが、完売時期が翌期にずれ込む見込みとなり、当初計画より約 50 億円減少する見込みであります。以上の理由により売上高見込みを修正いたします。

損益面につきましては、「トラストパートナーズ第5号」の販売遅れに伴う売上計上期のずれ込み及び諸費用計上により約 460 百万円減額となる見込みです。また、RV事業におきましては、前第4四半期に販売部門、生産部門を立ち上げ、実質当期より事業開始いたしました。販売体制の構築が遅れたことにより販売計画が未達、計画よりも約 120 百万円減益となる見込みです。新築マンション販売におきましては、当期竣工の3棟158戸及び前期竣工の2棟40戸の販売に注力、前第4四半期頃より一時的に落ち込んでおりました販売状況も秋口以降徐々に回復してまいりましたが、販売計画達成までは至らず、計画よりも約 100 百万円減益となる見込みです。一方、前期 338 百万円と大幅な営業損失を計上しておりましたウォーター事業は、当期黒字に転換、計画よりも増益となる見込みとなっております。

また、こうした販売計画の未達等に伴い、借入金残高が増加、支払利息の額も計画よりも増加する見込みです。

以上の要因によりまして、営業利益、経常利益、当期純利益は、それぞれ減額となる見込みです。
翌期に完売計画がずれ込みました「トラストパートナーズ第 5 号」及び新築マンションにつきましては、翌期の早い時期には完売できるよう、引き続き販売に注力してまいります。

以 上

(注) 本資料に記載されている当社の通期の連結業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。